

令和2年度（2020）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

穴吹情報デザイン専門学校

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 穴吹情報デザイン専門学校 学校関係者評価委員会は、令和2年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

令和3年 3月 31日

学校法人穴吹学園 穴吹情報デザイン専門学校

学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて穴吹情報デザイン専門学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹情報デザイン専門学校が行なった教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

高橋 宏之	企業等委員	株式会社ワンライト	代表取締役社長
田島 建彦	元高等学校関係委員	元高等学校	校長
天野 博士	卒業生代表委員		
森島 裕策	卒業生代表委員		
曾根 大地	卒業生代表委員		

(学校教職員)

藤井 悦子	穴吹情報デザイン専門学校	校長
信岡 誠三	穴吹情報デザイン専門学校	副校長
壽福 英尚	穴吹情報デザイン専門学校	教務部長
高橋 忍	穴吹情報デザイン専門学校	教務課長

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和3年3月24日(水) 19:00~20:30

開催場所 福山校東町校舎C404教室

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」、「目的」及び「令和2年度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果(総括)」、「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である の4段階にて評価。

5. 意見交換・質疑応答

①資料確認

②3ポリシー（アドミッション、カリキュラム、ディプロマ）について説明

③学生動向（入学生数、在籍数、卒業生数、休・退学率 等）について報告

④自己評価報告書

×項目の内容と改善点などについて主に報告

- ・2.令和2年度の目標と計画について

- ・2-3-b 理事会・評議員会の議事録は公開されていますか
実施はしているが、議事録は公開出来ていない

- ・3-3-a 企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）がありますか
インターンは現在、希望者のみ実施している

- ・3-12-d 地域の他の専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか
昨年までは連携できていなかったが、今年度福山市立大学と実験的に一部連携を行った

- ・5-2-c より高度な学習・研究ができるよう大学と併修または接続可能な体制等を取っていますか
大学等の併修、接続体制、単位互換などは無し。ただし、今年度、高松に短大を設置した為、併修や接続の動きがあると思われる
- ・5-4-a 課外活動に対する支援体制は整備されていますか
例年課サークル等の課外活動を支援しているが、今年度はコロナの影響により実施できていない

- ・5-7-b 学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度はありますか
コロナ禍により、全学生に2万5千円の支給型を奨学金実施

- ・5-11-b 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されていますか
-d 卒業生（同窓生）の1年後の就業状況を把握していますか、また公表していますか
過去には卒業後の就業状況の調査をしたことはあるが、HPでの公表・公開に至っていない

- ・5-12-a 卒業生への支援体制～資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか
就職キャリアセンターに再就職の窓口は設けている

- ・6-2-c 学内の整理・整頓・清掃に関するルールが文書化され、定期的に管理・チェックがされていますか
学生の手引き等で明文化しているが、定期的なチェックは出来ていない

- ・6-3-b 校外実習に関する実施要領・マニュアルについて
今年度 IT ビジネス学科が本格的に校外実習を実施し、要領、成績評価を設定した
- ・6-4-b 施設・設備の耐震化を図っているか
入船校舎は耐震工事完了。東町校舎は未実施である
- ・6-5-b シェイクアウトや各県・市・町が行う防災訓練等に参加しているか
学校独自の避難訓練は実施しているが、行政主体のものには参加できていない

7 学生募集と受入

コロナ禍により春はオープンキャンパスを中止。その後は密を避けた分散方式にて、全体で集合せずに各学校で分散して実施。オープンキャンパスができなかったため、動画やwebでコンテンツを作成した。今後も継続して高校生に訴求していきたい。

- ・7-3-a 入学予定者に対し学習指導・支援等が行われていますか
昨年×。e-ラーニングをやめて、今年度より学科独自の教材（看護用、美容用）を作成。高校生のモチベーションを維持できるように合格者にiButテキストを入学前学習教材として送付した

10 社会貢献・地域貢献

公開講座や研修の開催はコロナの影響により例年と比較し、大きく減少している。

- ・10-2-b 社会的活動を実施し、評価・単位認定をしているか
学生ボランティアは推奨 単位認定はできていない。成績表の備考欄には記載。福山ばら祭りや24時間テレビなどのボランティアをしていたが今年度は実施できず
- ・10-3-b 地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟し、定期的な会合に参加していますか
産学連携などで様々な企業・団体と連携は1年間を通して行っているが、定期的な会合には参加できていない
- ・10-4-a 県腺各連合会の若年者職業意識涵養事業（県の委託事業）に積極的に参加していますか
県の事業には参加していないが、例年はマナー指導などしていた。今年度は実施無し

11 国際交流

通常学科への留学生の受け入れも行っているが、今年度の出願はなし。
次年度、留学生の在籍は、新規設置した留学生対象の国際ITエンジニア学科のみとなる見込み。

- ・11-2 学習成果が国内外で評価される取組を行っていますか
JAGDA 国際学生ポスターアワード2020への出展を行い、入選した。

・総括と今後の課題

自己評価結果（総括）評価はA

1. 入学目標

115名目標に対し 127名で達成（最終は135名の見込み）

2. 退学目標

3%目標に対し6.5%

1年次の退学者が過半数を占め、大幅な改善が必要

3. 新規挑戦目標

新規産学連携、複数実施（バス全面ラッピング。調味料ラベルデザイン、福山市バラLINEスタンプデザイン、防火用横断幕デザイン、弁当掛紙デザイン、お茶店紙袋デザイン、ピサイドゲーム講評、ビアライブオンライン説明会 他）

今後の課題・改善方策

- ・入学目標
OCが実施出来ない場合は、今年度同様Web OCに注力し、穿設学科んぼPRと共に捕捉率の向上に努める。
- ・退学目標
早期での組織対応と併用して校内カウンセラーを積極活用し、退学率を抑制する。
- ・新規挑戦目標
全学科、実践教育を目的とした業界との連携を次年度以降も継続実施する。

④保護者アンケートについて

回収率：96%（前回84%）

概ねAまたはB評価であったが、昨年よりもD評価のパーセントが高い項目がある。

新しい設問の5, 6について

- 5：オンライン授業の内容には満足している
ABが73% オンライン授業に満足してもらえた
- 6：コロナウイルスに対する感染対策がしっかりと行われている
ABで75% コロナ感染対策に満足してもらえた

D評価があったのが

- 3：学習意欲を高める工夫や努力がうかがえる。
- 7：学生に対する精神面のサポートが適切に行われている
- 10：就職指導に関する体制が整備され、適切な指導が行われている
- 13：配布物や一斉メール配信により、学校の様子を把握できた
- 14：職員の対応は親切で誠意がある
- 15：面倒見がよく、最後までフォローしてくれている
- 16：本校に入学させて良かったと思っている
特に16の「入学させて良かった」の設問にD評価を5名付けられており、反省すべき点だと考える

⑤就職内定報告について

- ・2月末までに就職希望者全員内定
- ・就職辞退者0名（昨年8名）
- ・自主活動者6名（昨年2名）
- ・業界内定率62%（昨年74%）～CGデザイン学科は100%

（質疑応答）

- ・退学者の要因について。
→心の病、障害に関する退学が多い。
退学者を一人でも減らすために、早期に学生本人、保護者と面談を実施している。
また、学校内にもカウンセリングルームを併設し、スクールカウンセラーによるカウンセリングも実施している。
- ・退学について、経済的な影響はあるか。
→学校側は、非常に心配していたところであったが、影響はほとんどない。

・経済的な支援や対策はあるのか。

→5月からオンライン授業を実施することになり、学生もその環境整備をする必要があると判断し、給付型奨学金として、全員へ一律25,000円を給付した。
この給付金については、学校の他、保護者会、同窓会からも支援いただいた。

・オンライン授業について。

→オンライン授業は5月のゴールデンウィーク以降2週間ほど実施し、その後、一部は、オンライン授業と対面授業の併用したクラスもあるが、ほぼすべての学科で6月からは対面授業のみで実施した。

・就職の状況は。

→2月末までに全員内定。例年、地元への就職を希望する学生が多い中、さらに新型コロナウイルスの影響で、より地元での就職希望者が増えた。
この傾向は、来年度も続くと見ている。

・研修旅行が実施されていないが。

→すべての学科で、当初予定していた研修旅行は実施できておらず、その対象学科で徴収していた研修旅行費用は、年度末に返金にて対応した。
合わせて、他の学校になるが、インターンシップ費用等、未実施のものについても返金した。
研修旅行も専門的な知識、技術の習得の場として、であり、非常に意味のあるイベントであるが、今年はすべての研修が実施できず、非常に残念であった。

・卒業時の保護者アンケートは過大に書いているのでは？普段学校および担任に対して意見を言う機会が無いため、どうしても必要以上に過大表現する保護者もいるのでは？

→そうであったとしても、入学させて良かったと思ってもらえるような学校運営を行っていきたい。

⑧学生と保護者に認識のズレがあるのではないかと？

→保護者とは直接接していない為、多少のズレはあると思うが、保護者の方にも理解してもらえるような配布物及び一斉メール配信などを検討していきたい。

⑨コロナが収束してもオンライン授業は継続するのか。

→原則、対面授業のみで対応する。

但し、従来より実施している穴吹カレッジグループの高松校、徳島校と合同の遠隔授業は継続して実施していく。

⑩コロナの患者は出たのか。

→日本人2名、留学3名

感染状況について、詳細報告

⑪退学者が多いクラスの学生対応はどのようになっているのか？

問題学生の対応に多大な時間を要し、それ以外の学生対応が難しくなっている。

校内カウンセラーを含めた組織対応が更に必要となる。

貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

以 上